

ウクライナ音楽界の現在にみる戦争と音楽～高谷光信氏を迎えて～

1. 日 時： 2025年5月12日(月) 3限 13:30 ～ 15:00
2. 場 所： B102 聴講 学内・学外ともに可
3. 対象学生(必修)： 音楽学特殊研究A・C
4. 講師紹介： 高谷光信氏

大阪音楽大学(トランペット専攻)を卒業後、ウクライナ国立チャイコフスキー記念音楽院指揮科首席卒業。

ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者(2003～2006)、第2指揮者(2006～2012)を経て2012年4月より常任指揮者に就任。

その後、ウクライナを拠点に指揮者として幅広い活動を展開するが、コロナ禍やロシアとウクライナの軍事衝突の影響により帰国を余儀なくされ、現在は日本を拠点に活動中。

また、2022年2月1日に「一般社団法人 日本ウクライナ音楽協会」を創設し理事長に就任するなど、ウクライナ音楽の紹介と普及にも尽力している。

5. 講義概要：

「戦争と音楽」をテーマにした授業の一環で、現在も続くウクライナとロシアの戦争が音楽に与えている影響について、現地をよく知るプロの指揮者をゲストに迎え、現状について報告(講演)してもらう。その上で、戦争が音楽に与える影響を学ぶとともに、戦時における音楽の役割について、ディスカッションを交えながら考える機会とする。

特別講義：ウクライナ音楽界の現在にみる戦争と音楽

～高谷光信氏を迎えて～

戦争は音楽に何をもたらすのか？ 音楽は戦争に何をもたらすのか？

戦時において音楽の果たす役割はあるのでしょうか？音楽で平和をもたらすことはできるのでしょうか？あるいは、知らぬ間に音楽を通して戦争に加担していたとしたら…。

この特別講義では、ウクライナで約20年にわたりオーケストラ指揮者として活動してきた高谷光信氏を迎え、戦争が始まる前から戦争勃発、そして今なお戦火に襲われ続ける現地の音楽界の様子についてお話しいただきます。



日時：2025/5/12 (月) 13:30-15:00

場所：大阪音楽大学 B 号館 102 号教室

入場無料／事前申し込み不要

お問合せ：大阪音楽大学大学院音楽学研究室 能登原由美 y.notohara@daion.ac.jp

高谷 光信（たかや みつお）氏 プロフィール

大阪音楽大学音楽学部器楽学科卒業、ウクライナ国立チャイコフスキー記念音楽院指揮科首席卒業。指揮を故小松一彦、故伊吹新一、田中良和、藏野雅彦、辻井清幸、V.ブラソロフ、故 E.ドゥーシェンコ、N.スーカッチに師事。2003 年ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団の定期演奏会でプロデビュー、2012 年より同楽団常任指揮者に就任。日本では大阪交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団など多数の楽団と共演するほか、《題名のない音楽会》など多くの TV 番組に出演。現在は、東京混声合唱団 指揮者（2019 年 4 月～）、一般社団法人 日本ウクライナ音楽協会 理事長（2022 年 2 月～）、四條畷市市民総合センター NMP 芸術監督（2022 年 10 月～）、J ルークスシンガーズ 音楽監督（2019 年～）を務める。関西大学客員教授。大阪芸術大学演奏学科客員准教授。名古屋芸術大学大学院音楽研究科・芸術学部音楽領域、武庫川女子大学音楽学部、各講師。第 16 回京都芸術祭京都市長賞（2002 年）、チェルニーヒウ州文化功労賞（2012 年 7 月ウクライナ）、チェルニーヒウ州行政長 文化功労感謝状（2019 年 7 月ウクライナ）を受賞。公式サイト <https://m-takaya.com/>

